

望岳山荘

いって



中嶋 嶺雄

今年も才能教育研究会の夏期学校が八月四日から七日まで、長野県松本文化会館、松本市総合体育館、まつもと市民芸術館、あがたの森文化会館、才能教育会館、松本第一高校、旭町中学校、開智小学校、本郷小学校をそれぞれ会場にして開かれる。全国各地から、また海外からの参加者も年々増加して、約千五百名の生徒に、保護者の方々、指導者やスタッフ

を加えると総勢約三千五百人もが間もなく松本市にやってくる。夏休みの期間中というところもあって、四日間の夏期学校前後の宿泊や観光も含めるとほぼ一週間、信州の夏を満喫していただけるものと思う。最近では単なる物見遊山の観光ではな

は、戦後の日本で長い歴史と伝統を有するユニークな教育イヴェントだといっている。松本市は日本の地方都市のなかでも北アルプスや美ヶ原高原の山々に囲まれた個性的な文化都市であり、それを山岳の「岳」、学問の「学」、音

や全世界にススキ・メソッドとして知られている才能教育研究会だといえる。松本に生まれ育った私は、毎年夏に帰省する時、小さなヴァイオリン・ケースを手にした子どもさんたちとお母さんを松本駅頭や市内の街角でよく見かけることがあった。そうした光景を私はいつもほほ笑ましく思っていたのだが、外国からの参加者も多い恒例の夏期学校が、全国の諸都市に先駆けての松本市の国際化に貢献することにもなり、一方、いまや全世界に約四十万人の生徒を擁するススキ・メソッドの広がりによって、MA TSUMOTOの地名も世界的にかなり知れた

活動は「灯台もと暗し」というのか、松本市民の皆さんにはあまり紹介されてこなかったのではないかと。そうした反省もあって、今年の夏期学校では、八月六日(水)夜七時から「協奏曲の夕べ」(県松本文化会館大ホール)に、当地のゲストの方々とともに広く市民の皆さんにもおいでいただきたいと思っ

60回目の才能教育夏期学校

く、知的刺激や学習効果が伴う教育的な休暇や観光の時代になりつつあるので、松本という素晴らしい地方都市の長所を全国・全世界の生徒や保護者の方々に知ってもらうには絶好の機会でもあらう。

才能教育研究会としては、東京の日本武道館ですら、何かが通じ合える喜びを感じます。あいさつは人間関係の基

高原で開催されたのが一九五一(昭和二十六年)であり、翌年は霧ヶ峰と松本市とで二回行われ、以来は開催地を才能教育研究会本拠地の松本市に移して、この夏まで連続して開催、今回は第六十回の夏期学校という節目になる。わが国全体から見ても、この夏期学校

「楽」の源泉は、いま

「楽」にはここ十数年来、世界的な指揮者・小澤征爾氏で知られるサイトウ・キネン・フェステイバルも加わっているけれど、なんといっても「楽都」の源泉は、いま

あいさつで心が通じ合う

すだけで、何かが通じ合える喜びを感じます。

呼び掛けがありました。よその被災者を気の毒に思っている、明日は

わが身かもしれません。自然の猛威にはとても対抗できませんので、気象

情報に注意することや防災用品の準備など、できる限りの対策は必要だと

思います。(松本市、男性、77歳)

投稿規定

★投稿ははがきか封書、ファクス、Eメール(添付ファイル不可)で。住所、氏名、年齢、性別、電話番号を必ず明記してください。
口差点…600—800字で、本社「口差点係」へ。「口差点」の明記を。採用分には薄謝をお贈りします。
ハロー…200—300字以内で、本社「ハロー係」へ。紙上は匿名です。
私の作品…作品を撮影した写真に題名、簡単なコメントを添えてお送りください。
なお、趣旨を変えない程度に添削することがあります。採否の返答、原稿・写真の返却は採否にかかわらずいたしません。二回投稿は凍結ください。ご了承ください。